

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	総合英語ⅡW	
科目基礎情報							
科目番号	0060		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	土木建築工学科		対象学年		3		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES, BASIC TESTBOOK FOR THE TOEIC L&R TEST -TOEIC L&R TESTのための基礎演習-, 英語の構文 8 0 UPGRADED (2年生で購入済みのもの)						
担当教員	倉増 泰弘						
到達目標							
1) 学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを表す文を書くことができる。 2) 学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを口頭で伝えることができる。 3) 学習した文法事項を含むTOEICの問題に解答できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを表す文(誤りのない文)を書くことができる。		学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを表す文(多少の誤りを含む)を書くことができる。		学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを表す文を書くことができない。	
評価項目2		学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを口頭で流暢に伝えることができる。		学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを口頭でおおよそ伝えることができる。		学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを口頭で伝えることができない。	
評価項目3		学習した文法事項を含むTOEICの問題に80%以上解答できる。		学習した文法事項を含むTOEICの問題に61~79%程度解答できる。		学習した文法事項を含むTOEICの問題に60%以下しか解答できない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 2							
教育方法等							
概要		本授業では、語学力の基本である文法を定着させることを目的とする。高専2年生までに学んできた文法事項に関して理解を深めるだけでなく、産出することを主旨とする。特に、学習した文法事項を用いて自分の意見や考えを述べる事が可能になることが目標である。また、TOEIC受験に向けて多様な設問に対応できるように演習を通じて学習を進めていく。					
授業の進め方・方法		テキストの問題を演習形式で行うだけでなく、様々なアクティビティーを通して産出活動を行う。					
注意点		・70%(定期試験)+10%(小テスト)+10%(ワークシート)+10%(TOEIC)=100% ・授業内外で課せられる課題をきちんとこなし、 1・2年の総復習を行い、また4・5年生で専門的な英語を学習する前段階としてこの授業をとらえてほしい。また、理解度次第で進度を変更する場合があるので、その場合は適宜周知する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	初回説明、アクティビティー		協同的な活動において積極的に英語を産出できる。		
		2週	Lesson 1 時制、Lesson 2 完了形		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(時制・完了形)を用いて、話したり書いたりできる。		
		3週	小テスト、Lesson 3 助動詞①、Lesson 4 助動詞②		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(助動詞)を用いて、話したり書いたりできる。		
		4週	小テスト、Lesson 5 受動態①、Lesson 6 受動態②		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(受動態)を用いて、話したり書いたりできる。		
		5週	小テスト、Lesson 7 不定詞①、Lesson 8 不定詞②		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(不定詞)を用いて、話したり書いたりできる。		
		6週	小テスト、Lesson 9 不定詞③、Lesson 10 助動詞		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(不定詞・助動詞)を用いて、話したり書いたりできる。		
		7週	小テスト、Lesson 11 分詞①、Lesson 12 分詞②		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(分詞)を用いて、話したり書いたりできる。		
	8週	中間試験		前半に学習した内容を踏まえた設問に解答できる。			
	4thQ	9週	中間試験の返却と解答解説、Lesson 13 比較		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(比較)を用いて、話したり書いたりできる。		
		10週	Lesson 14 関係詞①、Lesson 15 関係詞②		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(関係詞)を用いて、話したり書いたりできる。		
		11週	小テスト、Lesson 16 仮定法①、Lesson 17 仮定法②		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(仮定法)を用いて、話したり書いたりできる。		
12週		小テスト、Lesson 18 疑問詞と疑問文、否定、Lesson 19 名詞と冠詞		1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(疑問と否定・名詞と冠詞)を用いて、話したり書いたりできる。			

		13週	小テスト、Lesson 20 代名詞、Lesson 21 形容詞、副詞	1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(代名詞・形容詞・副詞)を用いて、話したり書いたりできる。
		14週	小テスト、Lesson 22 前置詞、Lesson 23 接続詞	1) 学習した文法事項を含むTOEIC形式の問題に解答できる 2) 学習した文法事項(前置詞・接続詞)を用いて、話したり書いたりできる。
		15週	期末試験	前半に学習した内容を踏まえた設問に解答できる。
		16週	期末試験の返却と解答解説	学習した内容の理解度を確認し、自分の弱点を把握する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	ワークシート	TOEIC	ポートフォリオ	相互評価	合計
総合評価割合	70	10	10	10	0	0	100
基礎的能力	70	10	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0